

埼玉県の皆さんへ

これから夏休みに入ると、海に行く機会が増えるかもしれません。
下記に紹介する事例や事故を防ぐにはどうすればいいのかを確認してから海へ行き、安全にマリレジャーを楽しんでください！

事故者(埼玉県在住、高校生)は、友人とともに夏休みに千葉県を訪れた。(海水浴場の開設なし)友人と3名で腰から胸程度の深さの場所で遊んでいたが、事故者が溺れているところを友人が発見し、助けようとしたが肩を捕まれ自身も溺れそうになったので海岸へ戻り周囲の者に助けを求め、通報してもらったがその間に事故者を見失った。船・航空機により捜索が行われたが、2日後に消波ブロックに挟まっているところを発見された。(死亡事故)

▲事故の原因▲

きゅうめいどうい

☑救命胴衣を着用していなかった

れんらくしゅだん

☑連絡手段を確保していなかった

☑開設された海水浴場ではなかった



海での事故を防ぐためには👉



◎遊ぶ前に天気予報をチェックし晴れた風の穏やかな日に遊みましょう!

◎サイズの合った救命胴衣を正しく着用しましょう!

◎子供から絶対に目を離さないようにしましょう!

かんしん
◎監視員がいる海水浴場で泳ぎましょう。

海の事件・事故は「118番」!!

きんきゅうつうほうようでんわばんごう

～118番は海上保安庁が運用する海の緊急通報用電話番号です～



皆さん、「海上保安庁」をご存じですか？

海上保安庁は海の警察、消防、救急として、昼夜を問わず日本全国あるいは世界の海で皆さんの安全・安心を守っている組織です。

海上保安庁の仕事に興味があれば、見学等も受け付けていますので東京海上保安部までお気軽にお問い合わせください。(Tel:03-5564-1118)



←「Water Safety Guide」

海で安全に遊ぶための
総合情報サイトです! 要チェック!



←「Net118」

聴覚や発話に障
がいのある方が
利用できます。

事故発生状況は
次へ!





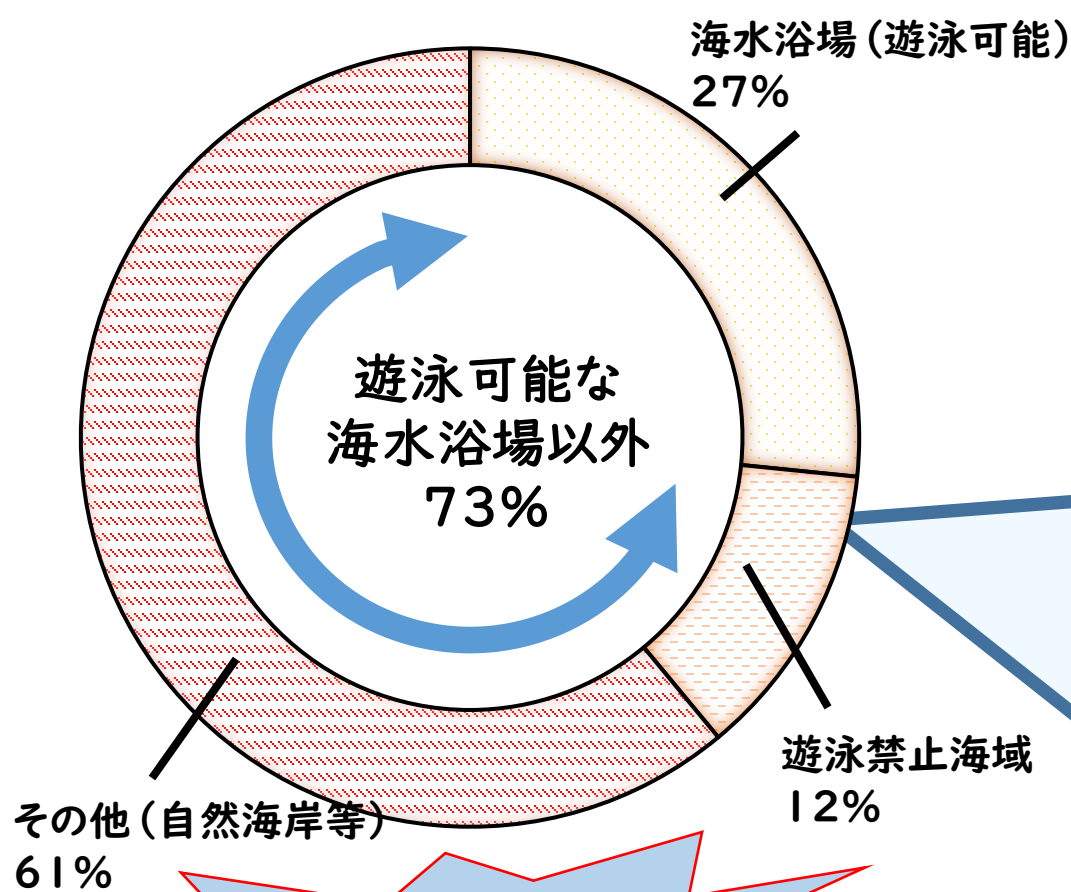
海の事故に注意



全国の海浜では、遊泳中の事故が多発しており、その多くは夏休み期間中に発生しています!!

過去5年間(2021年~2025年)における18歳以下の事故者は567名で、そのうち52名(9%)の方が亡くなっています。

遊泳場所別割合



海浜事故の73%は「海水浴場以外」で発生しています!

監視員がいる海水浴場で泳ぎましょう。

理由1) 海水浴場は、ライフセーバー等の監視が行き届いており、万が一の時の救助体制が整っています。そのため、早期に事故が発見され、迅速な救助が実施されます。

理由2) 海水浴場は、安全に遊泳することができる遊泳区域がブイで定められています。

波が高い日は、泳いではいけません。

高い波や強い風の影響で、溺れたり沖合いに流される危険性が高くなります。

離岸流に注意

○海水浴場や海岸付近では、岸から沖に向かう流れが発生することがあり、これを「**離岸流**」と呼んでいます。

★離岸流に遭った時には...

1. まずは、落ち着く(あわてない)
2. 岸に向かって泳がない
3. 海岸と平行に泳いで脱出する
4. 脱出したら海岸に向かって泳ぐ

